

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： NSC-175

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
非小細胞肺がん	Pembrolizumab +CBDCA/PEM	21日間	4コース+α	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高/中	N Engl J Med 378: 2078-92, 2018

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
②	キイトルーダ 生理食塩液	200mg/body 50mL	点滴静注	30分	↓																				
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
④	デキサート アロキシ 生理食塩液	13.2mg 0.75mg 50mL	点滴静注	30分	↓																				
⑤	アリムタ 生理食塩液	500mg/m ² 100mL	点滴静注	10分	↓																				
⑥	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 6 250mL	点滴静注	60分	↓																				
⑦	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
上記4コース施行後、維持療法（Pembrolizumab(day1)+PEM(day1) q3w）を病勢進行まで施行																									

<注意事項/備考>

- ✓ PEMの副作用軽減目的のために、葉酸とビタミンB12を併用
 葉酸：初回投与7日以上前から1日1回0.5mgを連日経口投与（PEM中止/終了の場合は、最終投与から22日目まで継続）
 PEM：葉酸：ビタミンB12：初回投与少なくとも7日前に、1回1mgを筋肉内投与（投与期間中、投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与）
- ✓ PEM：頻度は低いですが、間質性肺炎や急性肺障害の報告あり、症状発現時はX線検査などを検討
- ✓ CBDCA：投与回数を重ねると、ショック、アナフィラキシー様症状の発現頻度が高くなる傾向（8コース前後）
- ✓ Pembrolizumab：0.2または0.22 μmのインラインフィルターを用いて投与